



中日本高速道路より「産業リーダー実践」の取組みについて「感謝状」を受けました。

■ TOPICS

1. 中日本高速道路より「産業リーダー実践」の取組みについて「感謝状」を受けました。
2. 「地域資源の活用と観光デザイン」の講義において「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 奥飛騨・平湯温泉」に参加しました（5月18日）。
3. 「地域産業と企業戦略入門－岐阜の企業を知る」の講義において、企業見学会を実施しました（5月23日）。

中日本高速道路より「産業リーダー実践」の取組みについて「感謝状」を受けました。

平成28年度よりインターンシップを中核とした「次世代地域リーダー育成プログラム・産業リーダーコース」を設置し、コースの上級段階科目である「産業リーダー実践」を開講しています。平成29年度は16名の学生が受講し、「株式会社サンクラフト」（関の刃物企業であり、同社商品のポテトングやペティナイフのプロモーションの検討）と「天領食品株式会社」（天領酒造の子会社で、新製品のオリゴ糖を主成分とした甘酒のプロモーションの検討）の2社と協働し、地域商材の魅力を検討し、サービスエリアにおける販売方法を提案しました。

最終的には十六銀行と中日本高速道路が実施する「商談会」において、学生自身が企業担当者に同席して、サービスエリアの運営テナントに対する商品提案を実施しました。

4月17日に上記の取り組みについて、中日本高速道路より、「SAを活用した魅力ある地域づくり・地域活性化への貢献」として感謝状を受けました。



「地域資源の活用と観光デザイン」の講義において「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 奥飛騨・平湯温泉」に参加しました(5月18日)。



5月18日(土)に「地域資源の活用と観光デザイン」の受講生と担当教員らが「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 奥飛騨・平湯温泉」に参加しました。

「ガストロノミーツーリズム」とは、欧米で普及している旅のスタイルになり、その土地を歩きながら、その土地ならではの食をたのしみ、歴史や文化を知る旅のことをいいます。

平湯温泉(高山市)は中部山岳国立公園の中にあり、四季を通じて自然に恵まれた温泉地です。国民保養温泉地でもあり、「休養」「保養」「療養」を行う湯治場としても利用されています。推定樹齢1,000年以上の平湯大ネズコ・日本の滝百選である平湯大滝等の豊かな地域資源が存在しています。

4月23日の講義では奥飛騨温泉郷平湯温泉観光協会の岩田会長をゲストにお招きし、イベントの背景、目的、想いについて聞かせていただきました。事前に平湯の地域資源を学んだうえで「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 奥飛騨・平湯温泉」に参加し、その後、乗鞍岳、高山市街地を視察しました。今回の実習(5月18日~19日)をもとに、2泊3日の観光プランの企画立案を行い、その成果を7月2日の講義の中で発表します。

「地域産業と企業戦略入門-岐阜の企業を知る」の講義において、企業見学会を実施しました(5月23日)。



「地域産業と企業戦略入門-岐阜の企業を知る」は、次世代地域リーダー育成プログラム産業リーダーコースの指定科目の一つです。主に岐阜県内の産業を題材に学び、実際の企業を知るために企業見学会を実施しました。約60名が二つのグループに分かれ、岐阜プラスチック工業株式会社、株式会社中広、日本耐酸壘工業株式会社、大進精工株式会社を見学しました。

見学した学生からは、「自分が好きな遊園地のアトラクションを作っていることなど知らなかった。」、「1日で100万本以上の瓶を製造する工場の仕組みはとてつもなく凄かった。岐阜にこういう企業があるとは知らなかった。」、「工場を見た人にしか分からない力強さと技術力を感じた。」、「産休復帰率100%、女性社長など設計会社で男性が多そうなイメージがあったけど、文系の女性がバリバリ設計の話をしているのを聞いて印象が変わった。」といった声がありました。

今回の見学を踏まえ、7月4日の成果発表会に向け、各班では自分達が学んだこと、感じたことを振り返り、学びを深めていきます。